

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 27

2011年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。
本年もどうぞよろしく願い申し上げます。
今年が皆さまにとって良い年となりますように。

障害児の自立に向けての社会生活体験事業

【独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業】

おしゃれしよう！
～自分で選ぶ・表現する～

社会生活体験プログラムⅡ

障害をもつ中高生を対象に、自立に向けての体験を広げることを目的に実施している「社会生活体験事業」では、昨年11月から12月にかけて、「おしゃれしよう！～自分で選ぶ・表現する～」の活動をしました。服装は、個人の自己表現でもあります。障害をもつ子ども達は、はたして、着たい服を自分で選んでいるでしょうか？ 毎日、着る服をどのように決めているのかを振り返りながら、さまざまなデザインや色を知り、自分の着たい服を考え、ボランティアとともにお店に行って洋服や小物を見たり選んだりする体験をしました。そして、好きな格好をして、好きな音楽に合わせ、自己表現を行う場として、ファッションショーを開催しました。活動の流れがわかりやすいよう、時計と絵入りのプログラムを作りました。また、子どもそれぞれにワークシートを準備し、全体を通しての「やりたいこと」、初回の自己紹介の内容、1回ごとの「やりたいこと」を記入してもらい、毎回、ボランティアが振り返りを記入しました。ワークシート、活動の中で作成や使用した用紙（1回：雑誌の切り抜きを貼った用紙、2回：講座やワークで使った用紙など）や、活動のようすの写真を紙ファイルに綴じ、それぞれの活動の記録を作成しました。

活動は、障害者自立生活センターの協力を得て企画し、活動にも自立生活センターのスタッフが加わっていただきました。子ども達が、年齢の近い学生ボランティアや障害当事者の先輩たちと出会い、一緒に活動する中で将来を思い描く機会となるとともに、自立生活センターとのネットワークが、子どもたちの今後の生活をサポートするものになっていくことが期待できます。

協 力：自立生活センターおおさかひがし、自立生活センター・あるる

第1回 服について話そう

日 時：2010年11月21日(日)14:00~16:00

会 場： 大阪市立城北市民学習センター 研修室2

参加者：子ども6名、ボランティア7名、あるるスタッフ2名、ヘルパー2名

出会いの日であるので、参加者とボランティアがようすを見ながらのスタートでしたが、雑誌をめくって好きな服を選んでいくうちに、打ち解けてきたようです。作業を通して、得意なことが見えてきて(ハサミの使い方など)、いろいろな発見がありました。

<活動内容>

- ・ 出会おう！知り合おう！
- ・ どんな服があるかな？(雑誌を見て、自分の好きな服を選んで切り抜いて貼る。それぞれ発表。)
- ・ 小物を選んでみよう
持参した小物を紹介。交換してつけてみる。



<ボランティアの振り返りから>

- ・ 自己紹介は練習通りに行なえ自己アピールできた。ジャニーズが好きという共通点があったので、コミュニケーションが取りやすく楽しく活動できた。
- ・ 雑誌を開くとどの服がいいか、指でさして思いを伝えてくれた。スカートを沢山選び、黒色のワンピースを最初に選んでいた。ピンクの靴も選んだ。
- ・ 雑誌(紙)をすごく真剣に切っていた。切り方が器用で、きれいで驚いた。のりを塗っていく時も集中していた。帽子をたくさん選んで楽しそうだった。
- ・ 初めは緊張したが、子どもから元気をもらった。一緒に好きな洋服を選んだり、発表したりして、楽しく活動することができた。次回の活動では、積極的にコミュニケーションをとってもっと仲良くなりたい。



第2回 どんな服が好きかな？

～ どんな色がいいかな？ ～

日 時：2010年11月27日(土)13:30~15:30

会 場： 大阪市立城北市民学習センター 研修室3

参加者：子ども4名、ボランティア4名、あるるスタッフ3名、ヘルパー2名

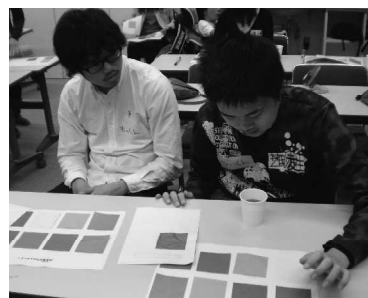
講師：カラーセラピスト 田中まさこ氏

一人ひとり、鏡の前で似合う色を選んでもらうのがうれしくて、みんな自分の番がくると、神妙な顔をして鏡を見つめていました。いろんな色があると知ることができたと思い

ます。また、本人以外の方が、その人のイメージカラーを選ぶ活動も、相手のことをよく見るといい活動だと思いました。

<活動内容>

カラーセラピストを講師に、自分のイメージの色を選んだり、色についての話を聞いたり、パーソナルカラーを選んでもらったりした。また、それぞれのイメージの色を選びあったり、ぬり絵で自分の「思い」の色を塗ったりした。



<ボランティアの振り返りから>

- ・ 今回の活動では、Aちゃんと話をする時間が多く、コミュニケーションをとるなかで、距離が縮まったと感じた。好きな色の話、そして、実際に一緒に絵を描き、色を塗り、楽しく活動できた。
- ・ 会場に行く時に、下車駅で電車から降りてくれず、1駅乗り過ごした。もう少し、行動を前もって知らせてあげたら良かった。活動が始まる前に絵を描いていたが、独創的な絵だった。凄いと感じた。
- ・ Bちゃんは、ボランティアや子どもたちに声をかけながら、元気に活動していた。私にお茶を勧めてくれて気配りが嬉しかった。私は、初めてカラーコーディネートしてもらい、色にはたくさんの種類があることや、自分に合う色を選ぶことで印象が変わることがわかった。



第3回 ショッピング

日時：2010年12月4日(土)11:00~15:30

行き先：鶴見リーファ

集合・解散：あさひあったかセンター（旭区在宅サービスセンター）

参加者：子ども4名、ボランティア6名、あるるスタッフ4名、ヘルパー2名

行くのに時間がかかったため、着いたらすぐに昼食でした。好きなものを選び、和やかに食事ができました。買い物では、みんな自分のこだわりがあるのがよくわかりました。持っているお金と値段を比べて悩んでいる姿が見られました。

<活動内容>

- ・ 全員で、電車で、ショッピングセンターへ移動。
- ・ 子どもとボランティアで、それぞれお昼ご飯。
- ・ 洋服や小物を見てまわる。それぞれの選択を大切に、選んだものを試着したり、財布の所持金と服の金額を比べたりして、買い物をした。自立生活センターの当事者スタッフと一緒に食事や買い物をし、先輩とかかわる機会もつくった。



<ボランティアの振り返りから>

- ・お母さんからピンクが好きと聞いていたので、ピンクの服ばかり探していたが、意外と黒やグレーの服をかわいいと言って見ていた。持参した金額以内でたくさんものを安く買おうと思っていたが、金額以内におさまられなかったことが反省点だった。
- ・今回は、電車で乗り過ごすことなく目的の駅で降りることができた。「どこがいい？」(食事)と聞くとなかなか応えてくれなかったが、二択に絞って聞くと選んでくれた。買物の場面では、本当に欲しいものが何なのかなかなかわからず困った。そこで、一回目の雑誌の切り抜きを見ながら一緒に考えていった。
- ・笑顔が多かった。お昼はオムソバを食べた。服選びは、好きな店を選び、気に入ったワンピースを試着し、買った。好き嫌いがはっきりしているので、あまり口出しせず、購入時に、それで良いか確認するようにした。買い物を楽しんでいた。



第4回 ファッションショー

日時：2010年12月12日(日)13:30~16:00

会場：大阪市立城北市民学習センター 研修室2

参加者：子ども6名、障害当事者1名、ボランティア4名、
あるるスタッフ2名、ヘルパー2名、保護者6名

美容師：トモ美容室さん

プロの美容師さんにヘアメイクをしてもらっているうちに、参加者がだんだんモデルらしくなっていくのがわかりました。発表の時はそれぞれが思いきり表現できていました。4回の活動を通して、参加者同士につながりが生まれてきて、それが会場の一体感になっていったようでした。

<活動内容>

- ・ 着替え。美容師さんによる髪の設定。
- ・ ファッションショー
- ・ 交流会 (参加者全員で、感想を述べ合い共有)
ショーのようすをビデオに撮り、後日、参加生徒に配布した。(区内の中学校4校・特別支援学校2校に広報をしたが、一般参加は無かった。)



<ボランティアの振り返りから>

- ・ファッションショーは、6人の子どもたちはとても個性的で素敵でかわいくカッコよく、自己表現できていたと思う。ダンスを踊ったり、音楽に合わせて振付をしていたりして、どの子も笑顔で一生懸命



命に取り組んでいて大成功だった。

- ・ヘアをセットしてもらった時、髪型が完成に近づくにつれて、笑顔が出てきた。ファッションショーは、最初、やる気があるのかなという感じがしたが、スタンバイの時に、すっかり気持ちを切り替え、「いきものがかり」の曲に合わせてノリノリで踊っていた。
- ・踊りの自主練習の成果を発揮することができた。美容師さんに花が連なったカチューシャをつけてもらって、それがワンピースにぴったり合っていて似合っていた。KARAの曲に合わせて上手に踊れた。たくさんの人の前で「自分が楽しむ」ことの力をこれからも大切に失わないでほしいと思った。



社会生活体験プログラムⅡ「おしゃれしよう！」

第1回～第4回を通して

<保護者アンケートから>

- ・ファッションショーでは、美容師さんにセットしてもらえたので、本当に素敵に仕上がって、嬉しそうでした。
- ・思っていたものより、最高のものになったと思いました。ファッションショーでは、子どももボランティアも見学の親もみんな笑顔が絶えなかった。
- ・回を重ねるごとにサポーターの人たちとよい人間関係ができた。一緒に皆で考え取り組んで良かった。ファッションショーは、初体験のセット・モデルが良かった。
- ・学生さんたちと楽しく過ごせて、家に戻ってからもニコニコ笑顔で買い物の商品を見せてくれました。学生さんの名前を覚えていて話してくれました。
- ・言葉のない娘と視覚障害をもつボランティアの学生さんがどう関係を作るかなと思いましたが、回を重ねるごとに関係が築かれていき、すごい！と思いました。ファッションショーは、子ども一人ひとりが、見学者の前で、ものおじすることなく恥ずかしがることなく楽しそうに、ちゃんと自分を表現できて、自信につながると思いました。

<ボランティアの感想から>

- ・1回目と3回目では、Aくんの私に対する態度が違っていった。3回目では、私に対して慣れてくれたのか、私についてきてくれ、嬉しく思えた。
- ・どの子どもも一生懸命に取り組む中で、自己表現ができ、子ども同士の仲間意識も高まったのではないかと思います。回を重ねるごとに、子どもたちが変わっていく姿を嬉しく思ったし、関わってとても良かったと思った。
- ・最初から子どもたちのやる気に驚かされっぱなしだったように感じる。週に一回という間をあけての取り組みだったので、やる気が継続するだろうかと思ったが、しっかり最後まで気持ちを切らずにできたことがすごいと思った。言葉で伝えることができなくても、その子のやりたいことがあり、それを人に伝えることができるのだということを学んだ。
- ・初めてボランティア活動に参加した。新しい人との出会いがあり、貴重な体験をすることができた。この体験を今後の学びに活かしていきたい。今後も自分

のできることを見つけ、ボランティア活動に取り組みたい。

保護者研修会 2010年度 第1回

義務教育修了後の進路を考える

日時：2010年11月21(日)14:00~16:00

会場：大阪市立城北市民学習センター 会議室1

参加者：保護者12名、関係者1名、中学生本人1名

義務教育終了後の進路について、4人の方に体験を話していただきました。最初は、A高校知的障害生徒自立支援コース(府下11校)に通う高校2年生男子生徒の保護者が、受験の方法を話されました。A高校は普通高校なので、制服があり、学食があり、公共交通機関を使っての登校など、「青春」しているようです。次に、大阪府立B高校共生推進教室に通う高校1年生男子生徒の保護者のお話でした。コミュニケーション能力や就労ということを中心に考え、悩み、公立高校を選んだそうです。B高校の行事もこなし、たまたが特別支援高等学校の職業指導も受けて、体力的に大変だと言われていました。三人目は、定時制高校に通う高校1年生女子生徒の保護者のお話でした。Cさんは重度の知的障害がありますが、小中学校で友だちとともに過ごしてきたので、高校もみんなと一緒に思ったそうです。普通高校なので、抽出もなくテストも同じものを受けています。見るからにやんちゃな子が「おれの同期」とCさんを友だちに紹介する姿を見て「親の偏見が恥ずかしい」と話してくれました。最後に大阪市立D工業高校卒業のEくんが「ぼくは知的障害をもっています」としっかりした声で話してくれました。中学3年生になって特別支援学校、自立支援コースの見学や農芸高校の体験授業、他学区の高校の文化祭にも行って、いろいろ考えました。高校3年間は全国障害者スポーツ大会に水泳で活躍しました。しかし、一般高校に障害者の求人は来ません。職業訓練校に進みました。最後までみんなと同じように高校生活を送ることができてよかったですと締めくくってくれました。

4人の体験を聞いたあと、「障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議」の西尾元秀さんから、資料をもとに、中学卒業後の進路についての情報提供がありました。高校でも「ともに学びたい」思いを強く持って、あきらめずに挑戦して欲しいと話されました。

<アンケートから>

- ・ お母さんの話が聞けて良かった。資料も多く、とても勉強になりました。
- ・ 今、小学生です。義務教育後の想像がつかなかったのが、大きな光が見えました。
- ・ 実際の体験談、保護者・当事者の話が聞いたことが何よりの情報です。
- ・ 行きたい高校のようすがわかりました。希望が持てました。

保護者交流会

おしゃれしよう

～ 活かしてくれる色はどんな色かな? ～

日時：2010年12月4日(土) 11:30～15:00 交流&講座

会場：あさひあったかセンター（旭区在宅サービスセンター）多目的室

参加者：障害児の保護者6名

講座：カラーセラピスト 田中まさこ氏

小人数だったため、ざっくばらんに意見交換をしました。前回の研修会の義務教育後の進路のこと、その先の自立のこと、現在の学校生活の中での不安や疑問など、短い時間でしたが、さまざまな思いを分かち合いました。その後、「おしゃれをしよう」の講座では、パーソナルカラーを教えていただいたり、元気になる色を上手に使う大切さなどのお話を聞いたりしました。自分への気づきにもなりました。それぞれの似合う色をゆっくりと選ぶこともできました。慌ただしい日々、心にゆとりを持って明日に向かえそうです。

<アンケートから>

- ・ 教育の個別支援計画を作ったりするアドバイスを得られた。
- ・ 交流会では、いろんな情報がわかりました。
- ・ おしゃれの講座では、自分にあう色がわかり、洋服選びの参考にしたいです。
- ・ 色によって元気になることを知り、しんどいなと思った時、使いたいと思います。

昨年末、公私ともにハードスケジュールの中、クタクタになったスタッフの心にパワーをくれたのは、ファッションショーでの子どもたちの笑顔とパフォーマンスでした。生き活きと「ワタシ」を表現する子どもたちに明るい希望を見た気持ちです。支えられているのは私たちだと、改めて感じた年の暮れでした。

大きな寒波がやってきて、あちこちで大雪。正月早々、ぎっくり腰をやってしまったスタッフもいて…、兔のようにジャンプできるか～?!

皆さまもくれぐれもご自愛ください。良い一年でありますように!



